

各 位

会 社 名 インスパイアー株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 駒澤 孝次  
 (JASDAQ・コード2724)  
 問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 野 瀬 有 孝  
 電 話 番 号 03-3289-6651 (代表)

業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 26 年 3 月期第 4 四半期決算において、特別利益を計上することとしましたので、同時にお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正の内容

(1) 平成 26 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(個別)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	270	△66	△66	△73	△144 32
今回発表予想(B)	22	△130	△133	0	1
増減額(B-A)	△248	△64	△67	73	—
増減率(%)	△91.8	—	—	—	—
(参考)前期同期実績 (平成 25 年 3 月期)	46	△132	△140	△222	△449 64

(2) 修正の理由

当社は、営業人員を割かずに行える小規模太陽光発電設備の区画販売事業を進めております。当該事業は、当社にとって仕入先となる事業者が小規模太陽光発電設備を設置するための用地を確保し、当社が販売先を探し、用地を区画分譲し販売する事業であります。当社は、平成 26 年 3 月期中に 15 区画を販売し、約 270 百万円の売上を計上する予想を立てておりました。しかしながら、当社の販売予定であった用地のうち大分県では借地権の引渡しについて競合企業との引き合いで地主と仕入先業者の交渉が難航していること、山梨県では大雪の影響により事業の進捗がストップしてしまったことにより、設備の設置が中断しており、販売先への引渡しができない状況と

なっております。これらの要因により、平成26年3月期中に売上を計上することが難しい状況となりました。上記の状況を踏まえ、グリーンエネルギー事業の付随事業であるLED照明機器販売の売上のみを業績予想の数値として計上することにいたしました。

また、営業損失、経常損失におきましても売上高の減少に伴い減少し、さらに期中の会計監査人の変更に伴う費用等が発生し、当初予想を下回る見込となりました。

当期利益につきましては、上記営業損失、経常損失の増加に伴い減少しましたが、前回予想では、平成26年1月31日に和解した訴訟について和解額が訴訟損失引当金として計上している350百万円より50百万円増える可能性を見込み、50百万円の特別損失が増え、平成26年3月期第1四半期に計上した約33百万円の特別利益と平成25年12月までに見込んでいた未払金の戻し入れによる特別利益10百万円を合わせて当期損失が経常損失から7百万円増加し、73百万円となる想定でありましたが、訴訟の和解により100百万円の特別利益が発生したこと及び当初見込んでおりました特別利益10百万円については精査した結果計上できなかったことにより、経常損失から合計で約133百万円のプラスが計上されるため、今期予想を0百万円に上方修正いたしました。

## 2. 特別利益の内容

### (1) 特別利益の計上及びその内容

当社は、平成26年1月31日開示「和解による訴訟の解決に関するお知らせ」のとおり、250百万円を支払うことで和解したため、平成26年3月期第4四半期において、訴訟損失引当金350百万円のうち100百万円を訴訟損失引当金戻入額として計上いたしました。その結果、その他の特別利益として100百万円を計上いたしました。

### (2) 業績に与える影響

上記特別利益は、今回の業績予想の修正に織り込んでおります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上